

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第19号 平成26年8月17日

今期三度目の無失策ゲーム

守備でリズムを作り、コツコツ打線で勝利を掴む!

	1	2	3	4	5	6	7	R
L	0	0	0	1	0	0	0	1
G	0	1	0	0	0	2	×	3



8/17(日)我々の秋季区民大会が幕を開けた。シードなので、今日は2回戦、対戦相手は、二度目の対戦となる、西菅田ライオンズで有る、前回は、敗戦だっただけに、今日は、すかっと勝利を掴み、3回戦に進出する意気込みでゲームに望んだ。我がチームは後攻で光希がマウンドに上がり、プレイボールとなった。その入りはストライクから、やはり入りがストライクだと、チームに安心感が芽生えるのは、私だけでしょうか?その後、6球を費やし空三振に仕留め一死、が次打者には、3-2から外れ四球で出塁を許す。が、後続を遊併打に斬り、初回を0封とした。翌二回は、この回先頭に中前安打で出塁を許すも、後続を2三振を含む凡打で抑えた。ゲームが動いたのは、その裏の攻撃、この回先頭の昌平がレフト線の安打で出塁、次打者は左飛で一死となったが、6番打者の時に二盗、7番打者の時に三盗を決め、二死ながら、先制のチャンスを迎えた。この場面の打席達脇が2球目を強振すると、打球はレフトの頭上を越える2ベースで、昌平が生還し、先制点を挙げた。まだチャンスは続いたが、後続が倒れ、この回は1点止まりであった。3回の攻防は共に無失点、翌4回の表にゲームが動く。この回の先頭にレフトへ鋭い打球を運ばれ出塁、この走者への牽制時にボークが主審から告げられ、走者は二塁へ、更にWPで三塁に走者を進め、無死三塁の場面になる。次打者には、はっきり動揺感が見られ、ストレートの四球で無死一・三塁。ここで、哲也がタイムを要求し、内野陣がマウンドに集合、この時、一塁昌平がミットで光希の頭に「何してんねん」の一喝。これで少し気が取り戻されたが、2-2のカウントから浅いライトフライを打たれる。これが犠飛となり、同点とされた。まだ塁上には走者がいるが、次打者を昌平の好プレー、祐太朗の肩、光希の捕球がゲッターを取り、最少失点の1点に抑えた。その裏には、先頭の祐太朗が安打で出塁、次打者のWPで二塁へ進塁し、追加点のチャンスかと思ったが、後続三人が全て内野へのフライアウトで残塁とし、追加点とならなかった。このまま終盤に突入り、6回の裏、我がチームに嬉しい追加点が入った。この回先頭は倒れ一死となったが、次打者祐太朗が四球を選択し出塁、ここで、昌平が4番の仕事をさっぱり果たす。先程の凡打を見事に修正し、2-1のカウントから4球目を右に運ぶ2ベースを放つ。この打球を野手が捕球出来ないと判断した祐太朗は、ホームに一挙生還し1点を追加、更には久々の暢造もライトに運ぶ安打で昌平を迎え入れこの回2点を追加し、最終回の7回の守備に、ここで光希が今日一番のピッチングを見せ、三者三振に斬り、無事、初戦を勝利とした。今日を振り返ると、与四球が多かったものの、連続で与える事が無かった。また、キレのあるピッチングから9奪三振を奪った光希の投球、更にはショート祐太朗を軸に2つの併殺、これに引きずられるかのように無失策、そして、打線においては、クリーンアップが機能した事が勝利の要因だろう。このしびれたゲームを勝利しただけに、次節もこのような戦いを実践し、勝利を掴み取ろう!上のトナリに行くために・・・